

種名	<u>ゲ ン ゴ ロ ウ</u> <u>Cybister japonicus</u> 
分類	甲虫目ゲンゴロウ科
形態的な特徴	全体的に黒緑色のやや平たい豆のような形をしている。体の側縁は黄褐色で縁取られ、脚、腹面も黄褐色である。雄の目脚のふ脚は平たく、交尾の時に雌の背中の張り付く吸盤の役目を果たしている。後ろ足にはけが生えていて水中で泳ぐのに適している。
分布	北海道、本州、四国、九州、沖縄などに分布する。
繁殖行動	産卵は 5～6 月頃で、雌が水中の水草などにかじって穴を空け、そこに卵を産みつける。ふ化した幼虫は水中で生活し、鋭い顎で小魚等にかみつく、幼虫は 2 回の脱皮後、上陸して地中でさなぎになり約 2 週間で羽化する。成虫になると再び水中で生活し、小動物などの肉をかじって食べる。
生息場所	平地から山地までの水生植物の繁茂した泥底で深い池沼や水田、湿地、流れの緩やかな小川などに生息する。
食性	幼虫時は、オタマジャクシや小魚などにかみついて消化液を流し込み、肉を溶かして食べる。成虫時には、小動物などの肉をかじって食べる。
生息環境への配慮事項	本種が生息する環境は水生植物の繁茂するため池や水田などで、幼虫も成虫も水生の小動物を食べる。したがってこれらが豊富に生息している水域が必要になる。また、地中に潜ってさなぎになるため水域と岸と連続している土護岸であることも重要となる。
その他	
引用文献： http://www.maff.go.jp/nouson/mizu_midori/menu/main.html を改変	